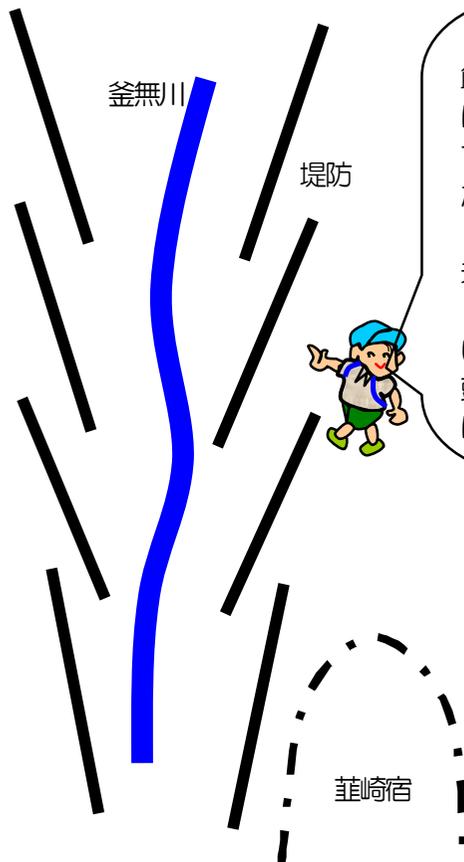


女夫石遺跡発掘調査速報

No.42

今回は、女夫石遺跡から飛び出して、ニコニコ健康ウォークにちょっとだけ参加です。女夫石遺跡を知るには周辺の歴史も知らなければいけないのです。ついでに健康じゃなきゃ、発掘もできませんよね。ということでウォーキングにちょっとだけ参加しました。今回のコースは釜無川・塩川沿いの堤防と勝手(かつて)神社をめぐる約7.5kmです。いろいろな文化財が実はあるし、絶好の風景スポットもありました！
めっきり寒くなりましたが、準備運動をしっかりして、皆さんもウォーキングをして新たな発見を目指しませんか？



川が一気に増水すると堤防が壊れて、まちは川に飲み込まれちゃいます。こうやって、途切れさせれば、少しずつ水があふれるので大災害にならずむんだよね。これを霞堤(かすみてい)と呼ぶんだよ！

今は、堤防をつくるための資材などが昔よりも丈夫になったから、霞堤じゃなくなっているけどね。葦崎を含めて山梨は水害が多かったから、昔からいろいろな工夫がされてきたんだね。竜岡町の将棋頭(しょうぎがしら)も立派な堤防だもんね。下の写真は塩川沿いの堤防です。どこだか分かりますか？



沢リ：今日は、葦崎のまちなかをウォーキングだ！堤防とかを見ながらなんだって、堤防ってそんなに珍しいものなの？

マキ：今の堤防はすーっとつながっているけど、古い堤防は途切れて並んでいるよね。霞堤(かすみてい)とか不連続堤(ふれんそくてい)とかって呼ばれているんだよ。

沢リ：どうして、そんな作りをしているのかな？

マキ：少しずつ、水をあふれさせて、大きな水害にならないようにするためにいわれているらしいよ。

沢リ：葦崎宿(いらすきしゆく)を守ってきた大切な堤防なんだね！

マキ：そうだよ、地域の歴史を語るものだから、文化財なんだよ。

沢リ：勝手神社はどんな神社なのかな？とっても小さな石鳥居(いしとりい)があるけど・・・。

マキ：その石鳥居がすごいんだよ。なんと今から？年前の頃に作られたもので、その頃のもの県内でも数えるほどしかなくて、山梨県の指定文化財になっているんだよ。

沢リ：でも、鳥居には？年って刻まれているよ。

マキ：後から、変更されたことが分かっているんだよ。古く見せるためかもしれないね、そんな歴史も持つ石鳥居なんだよ。境内の大きなケヤキは市の天然記念物なんだよ。

沢リ：ウォーキングで脂肪燃焼と頭の体操をして、面白かったね！(つづ)

うわー、ピンボケしちゃいました。勝手神社に向かって、正しいウォーキングの姿勢でウォークしている先生と参加者の皆さんの後姿です・・・。

正しい姿勢で歩く姿はカッコいいですよ。寒い季節だけど、猫背で歩いてちゃダメだよ。





勝手神社の小さな鳥居、くぐるには頭を下げなくちゃ通ることができないね。神社にお参りするんだからお辞儀するのは当たり前だけど、こんなに低くなくてもいいのにな〜。でも、これが趣（おもむき）があっていいんだけどね！



「時天禄元（ときてんろくがん）庚午（かのえうま）十月」という文字があるよね。でも本当は「命禄元（めいろくがん）庚子（かのえね）十月」だったのを直しちゃったんだって。ちなみに命禄元年は1540年で武田信玄のお父さんの武田信亮が甲斐国を治めていた頃なんだってさ。そんな古いものが残っているなんてすごいね。

ウォーキングのルートとは違うけど、ちょっとわき道に入って歩けばこんな風景を見ることができますよ。手前の木々の中には勝手神社があって、遠くには雪化粧の鳳凰三山と甲斐駒ヶ岳が見えて、青空とのコントラストがきれいですよね。大きな建物がないから見ることできる風景ですね！

